

科目名		地域言語聴覚療法学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(2単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
地域言語聴覚療法の概念、地域包括ケアシステムとその制度、地域での言語聴覚士の役割を理解すること									
〔授業全体の内容の概要〕									
地域言語聴覚療法の概念、地域包括ケアシステムとその制度についてディスカッションを交えて理解する。また、地域での言語聴覚士の役割については実務経験を交えて説明する。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
地域言語聴覚療法の概念、地域包括ケアシステムとその制度、地域での言語聴覚士の役割を理解し、また何ができるか考えられることを目指す									
回数	講義内容								
1	地域リハビリテーションの社会的背景、概念を説明できる								
2	わが国における社会保障制度の変遷を理解できる								
3	地域言語聴覚療法およびその役割、連携を説明できる								
4	地域言語聴覚療法を提供する制度、利用者の特徴を理解できる								
5	地域包括ケアシステムと制度を理解できる								
6	地域包括ケアシステムと制度を説明できる								
7	地域言語聴覚療法を支えるシステム：医療連携、介護関連のシステムと制度を理解できる								
8	地域言語聴覚療法を支えるシステム：福祉関連のシステムと制度、インフォーマル支援を理解できる								
9	地域言語聴覚療法におけるサービス：地域包括ケア、介護予防、外来における言語聴覚療法を理解できる								
10	地域言語聴覚療法におけるサービス：通所、入居、在宅における言語聴覚療法を理解できる								
11	地域言語聴覚療法の実際：地域における失語症、高次脳機能障害への対応を理解できる								
12	地域言語聴覚療法の実際：地域における摂食嚥下、発声発語障害、認知症への対応を理解できる								
13	小児の地域生活を支えるためのサービス形態とシステムを理解できる								
14	小児の地域生活を支えるための通所、特別支援教育、就学後の取り組みを理解できる								
15	災害リハビリテーションおよび災害時の言語聴覚士の役割を理解できる								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
標準言語聴覚障害学：地域言語聴覚療法学					藤田郁代監修		医学書院		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。									